



華麗な浜松芸妓連の道中踊り

●浜松駅前で踊る浜松芸妓連中の華やかな風景です。●昭和初期の写真で、背後に格調ある浜松駅が写っていて、右側の奥に人力車が並んでいます。●浜松の花柳界は、産業経済の発展と共に急速ににぎやかになり、浜松市の統計によると大正11年に千歳町、鍛冶町、肴町、伝馬町に芸妓置屋が56軒あり、置屋に所属していた芸妓の数が256人となっています。●昭和に入ると400人にもなり、芸妓組合が作られ、中央検番「^{まつなみかい}松涛会」が発足。●三味線や舞踊の大会、^{きやり}木遣道中が催され市民の目を楽しませてくれました。●この写真もその様子で、駅前で芸者衆が踊っています。●浜松の花柳界は、中央検番の他に元浜町を中心とした北部検番、相生町をエリアとした東部検番もあり、昭和30年頃には市全体で700人にもなりました。●しかし、現在ではわずか数人となり、花柳界文化もすっかり衰退してしまいました。●ザザシティの西館と中央館の間を南北に通る道路を通称「柳通り」と呼んでいます。●色レンガで柳の絵が描かれていて、往時の花柳界の街の名残りを伝えています。（資料提供©神谷昌志）

おいしいをつくりましょ。



JAとぴあ浜松